

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2020年9月10日まで（2010年9月30日設定）	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーフンド	につぼん債券オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の公社債に投資を行い、安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。</li> <li>金利変動リスク、信用リスクをコントロールすることで、投資収益の獲得を目指します。</li> </ul>	
主な組入制限	ベビーフンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。</li> <li>外貨建資産への投資は行いません。</li> <li>有価証券先物取引等の利用はヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>外貨建資産への投資は行いません。</li> <li>有価証券先物取引等の利用はヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
分配方針	毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### につぼん債券オープン （毎月決算型）



第112期（決算日：2020年2月10日）  
 第113期（決算日：2020年3月10日）  
 第114期（決算日：2020年4月10日）  
 第115期（決算日：2020年5月11日）  
 第116期（決算日：2020年6月10日）  
 第117期（決算日：2020年7月10日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「につぼん債券オープン（毎月決算型）」は、去る7月10日に第117期の決算を行いましたので、法令に基づいて第112期～第117期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 金 騰 落 中 率		( 参 考 指 数 ) NOMURA-BPI/Extended総合 ( 除 く M B S ・ A B S )		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
		分 配	騰 落	騰 落	騰 落			
	円	%	%	%	%	%	%	百万円
88期(2018年2月13日)	9,957	13	0.3	380.61	0.2	95.3	—	3,322
89期(2018年3月12日)	9,976	13	0.3	381.88	0.3	96.6	—	3,288
90期(2018年4月10日)	9,981	13	0.2	382.61	0.2	97.2	—	3,292
91期(2018年5月10日)	9,955	13	△0.1	382.26	△0.1	97.9	—	3,272
92期(2018年6月11日)	9,946	13	0.0	382.44	0.0	96.7	—	3,266
93期(2018年7月10日)	9,957	13	0.2	383.51	0.3	95.1	—	3,254
94期(2018年8月10日)	9,852	13	△0.9	380.31	△0.8	97.1	—	3,248
95期(2018年9月10日)	9,836	13	△0.0	380.19	△0.0	98.2	—	3,239
96期(2018年10月10日)	9,777	13	△0.5	378.64	△0.4	94.9	—	3,202
97期(2018年11月12日)	9,799	13	0.4	379.95	0.3	97.6	—	3,183
98期(2018年12月10日)	9,849	13	0.6	382.63	0.7	96.7	—	3,209
99期(2019年1月10日)	9,870	13	0.3	384.48	0.5	93.7	—	3,212
100期(2019年2月12日)	9,908	13	0.5	386.60	0.6	95.4	—	3,209
101期(2019年3月11日)	9,910	13	0.2	387.31	0.2	95.4	—	3,204
102期(2019年4月10日)	9,932	13	0.4	388.81	0.4	95.9	—	3,210
103期(2019年5月10日)	9,909	13	△0.1	388.67	△0.0	95.4	—	3,214
104期(2019年6月10日)	10,001	13	1.1	392.48	1.0	97.7	—	3,241
105期(2019年7月10日)	9,989	13	0.0	392.52	0.0	97.9	—	3,218
106期(2019年8月13日)	10,117	13	1.4	397.86	1.4	97.8	—	3,299
107期(2019年9月10日)	10,046	13	△0.6	395.85	△0.5	98.4	—	3,296
108期(2019年10月10日)	10,002	13	△0.3	394.69	△0.3	98.6	—	3,279
109期(2019年11月11日)	9,876	13	△1.1	390.47	△1.1	96.9	—	3,241
110期(2019年12月10日)	9,855	13	△0.1	390.19	△0.1	98.5	—	3,237
111期(2020年1月10日)	9,824	13	△0.2	389.81	△0.1	97.3	—	3,236
112期(2020年2月10日)	9,863	13	0.5	392.01	0.6	95.6	—	3,245
113期(2020年3月10日)	9,869	13	0.2	393.04	0.3	98.7	—	3,188
114期(2020年4月10日)	9,740	13	△1.2	388.92	△1.0	98.0	—	3,120
115期(2020年5月11日)	9,719	13	△0.1	388.58	△0.1	98.4	—	3,099
116期(2020年6月10日)	9,682	13	△0.2	387.62	△0.2	97.0	—	3,041
117期(2020年7月10日)	9,665	13	△0.0	387.59	△0.0	98.3	—	2,958

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Extended総合(除くMBS・ABS)とは、野村證券株式会社が発表している日本国内で発行され、MBS・ABSを除く、B B B格相当までを含めた公募固定利付債券の流通市場全体の動向を表すために開発された投資収益指数で、NOMURA-BPI/Extended総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) NOMURA-BPI/Extended総合 ( 除 く M B S ・ A B S )		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第112期	(期首) 2020年1月10日	円 9,824	% —	389.81	% —	% 97.3	% —
	1月末	9,882	0.6	392.14	0.6	96.7	—
	(期末) 2020年2月10日	9,876	0.5	392.01	0.6	95.6	—
第113期	(期首) 2020年2月10日	9,863	—	392.01	—	95.6	—
	2月末	9,941	0.8	395.13	0.8	98.6	—
	(期末) 2020年3月10日	9,882	0.2	393.04	0.3	98.7	—
第114期	(期首) 2020年3月10日	9,869	—	393.04	—	98.7	—
	3月末	9,755	△1.2	388.79	△1.1	97.1	—
	(期末) 2020年4月10日	9,753	△1.2	388.92	△1.0	98.0	—
第115期	(期首) 2020年4月10日	9,740	—	388.92	—	98.0	—
	4月末	9,773	0.3	390.12	0.3	98.3	—
	(期末) 2020年5月11日	9,732	△0.1	388.58	△0.1	98.4	—
第116期	(期首) 2020年5月11日	9,719	—	388.58	—	98.4	—
	5月末	9,715	△0.0	388.44	△0.0	96.0	—
	(期末) 2020年6月10日	9,695	△0.2	387.62	△0.2	97.0	—
第117期	(期首) 2020年6月10日	9,682	—	387.62	—	97.0	—
	6月末	9,661	△0.2	386.86	△0.2	97.7	—
	(期末) 2020年7月10日	9,678	△0.0	387.59	△0.0	98.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

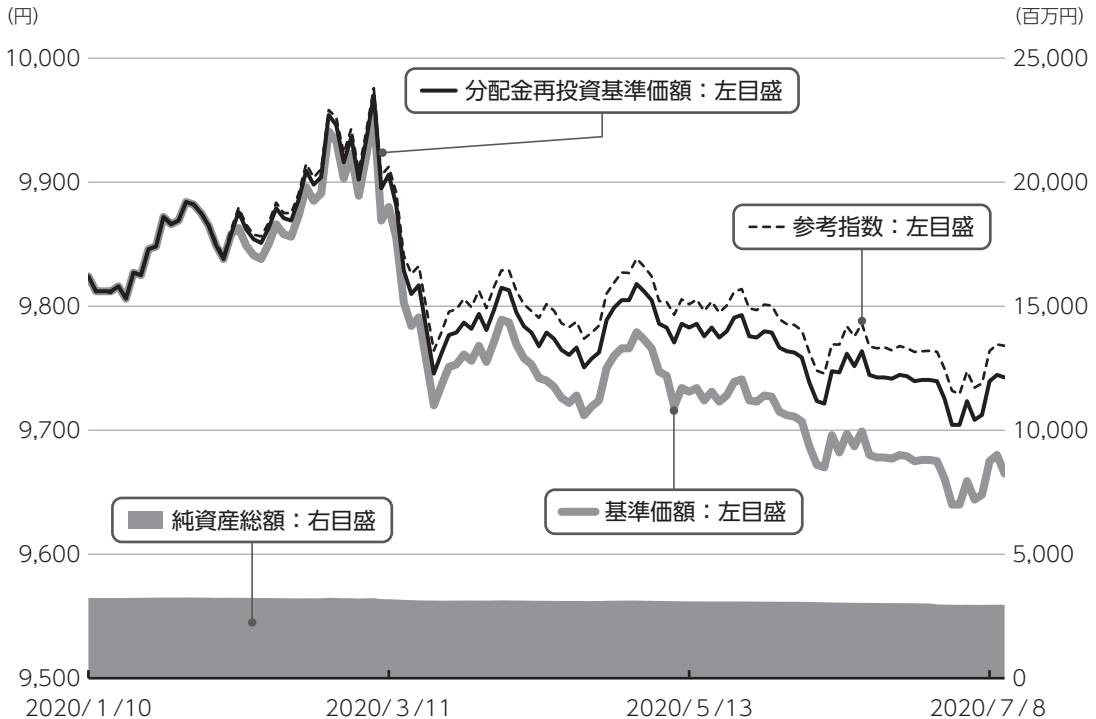
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第112期～第117期：2020年1月11日～2020年7月10日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第112期首	9,824円
第117期末	9,665円
既払分配金	78円
騰落率	-0.8%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ0.8%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## > 基準価額の主な変動要因

### 下落要因

国債増発などを受けて、超長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第112期～第117期：2020年1月11日～2020年7月10日

## 投資環境について

### 国内債券市場

#### 【国債】

国内金利は、超長期ゾーンが上昇しました。

国債増発などが、超長期金利の上昇圧力となりました。

#### 【事業債】

事業債スプレッド（国債利回りとの差）は拡大しました。

新型コロナウイルス感染拡大による世界経済の減速懸念などがスプレッドの拡大要因となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### にっぽん債券オープン（毎月決算型）

にっぽん債券オープン マザーファンド 受益証券を主要投資対象とし、組入比率を概ね99%以上に保ち、実質的な運用はマザーファンドで行いました。

マザーファンドの当作成期末の組入比率は、99.5%としました。

### にっぽん債券オープン マザーファンド

わが国の公社債を主要投資対象とし、金利変動リスク、信用リスクをコントロールすることで、投資収益の獲得をめざしました。

取得時にB B B格相当以上の格付を有する債券に投資し、発行体の信用力に留意しつつ運用を行いました。

債券種別構成は、事業債について、ファンド全体に対する組入比率を引き下げました。一方、国債については、流動性確保やデューレーション\*調整の観点から一定の組入比率を維持したものの、事業債の

組入比率引き下げに伴い、国債の組入比率は上昇しました。

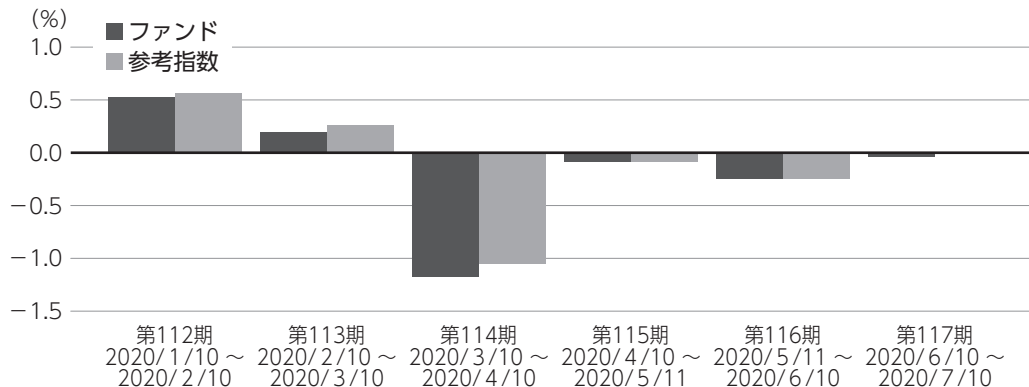
デューレーションについては、当作成期首から2020年1月下旬にかけては、金利低下余地は限定的との想定の下、参考指数対比短めで調整しました。当作成期末にかけては、参考指数対比中立で調整しました。

\*デューレーション：「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデューレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

第112期～第117期：2020/1/11～2020/7/10

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はNOMURA-BPI/Extended総合（除くMBS・ABS）です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第112期 2020年1月11日～ 2020年2月10日	第113期 2020年2月11日～ 2020年3月10日	第114期 2020年3月11日～ 2020年4月10日	第115期 2020年4月11日～ 2020年5月11日	第116期 2020年5月12日～ 2020年6月10日	第117期 2020年6月11日～ 2020年7月10日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>13</b> (0.132%)	<b>13</b> (0.132%)	<b>13</b> (0.133%)	<b>13</b> (0.134%)	<b>13</b> (0.134%)	<b>13</b> (0.134%)
当期の収益	6	5	3	3	3	3
当期の収益以外	6	7	9	9	9	9
翌期繰越分配対象額	454	447	438	429	419	410

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ にっぽん債券オープン（毎月決算型）

引き続き、にっぽん債券オープン マザーファンドを高位に組み入れ、マザーファンドを通じて運用を行っていく方針です。

### ▶ にっぽん債券オープン マザーファンド

引き続き、わが国の公社債を主要投資対象とする方針です。

取得時に B B B 格相当以上の格付を有す

る債券に投資し、発行体の信用リスク、流動性リスクに留意しながら運用を行います。さらに、事業債の組入比率を高めとする運用を継続し、市場環境をみながらデュレーションを機動的に変更していく方針です。



2020年1月11日～2020年7月10日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第112期～第117期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	23	0.236	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(11)	(0.110)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(11)	(0.110)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	23	0.237	

作成期中の平均基準価額は、9,769円です。

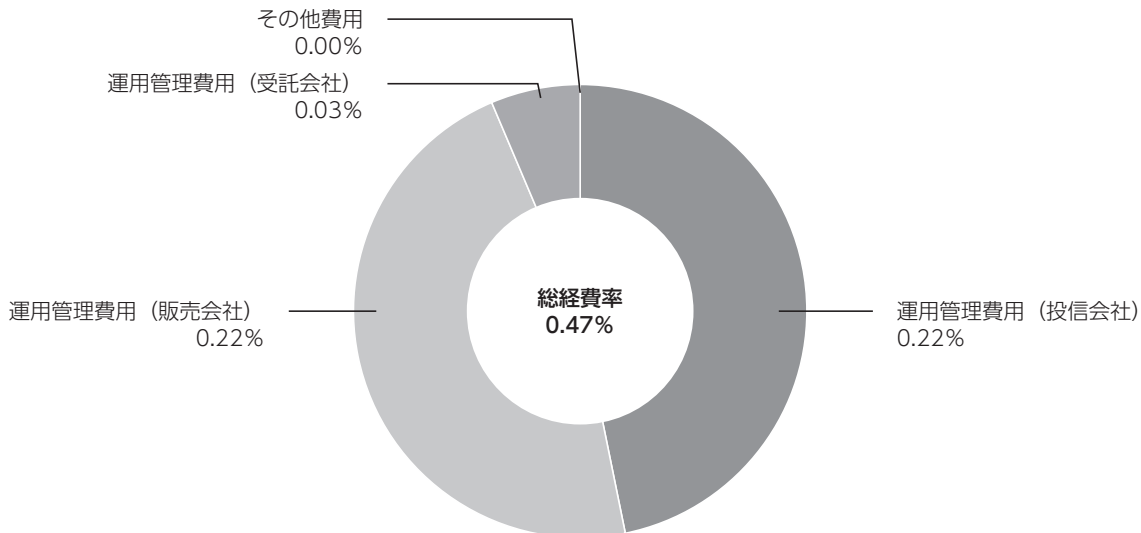
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.47%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年1月11日～2020年7月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第112期～第117期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
にっぽん債券オープン マザーファンド	千口 21,374	千円 25,538	千口 238,009	千円 283,685

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月11日～2020年7月10日)

利害関係人との取引状況

<にっぽん債券オープン（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<にっぽん債券オープン マザーファンド>

区 分	第112期～第117期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 503	百万円 104	% 20.7	百万円 611	百万円 305	% 49.9

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

<にっぽん債券オープン マザーファンド>

種 類	第112期～第117期		
	買 付 額	売 付 額	第117期末保有額
公社債	百万円 -	百万円 -	百万円 100

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、アコムです。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2020年1月11日～2020年7月10日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 1,915	百万円 -	百万円 -	百万円 1,915	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年7月10日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第111期末	第117期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
にっぽん債券オープン	マザーファンド	2,699,249	2,482,614	2,944,132

○投資信託財産の構成

(2020年7月10日現在)

項	目	第117期末	
		評価額	比率
		千円	%
にっぽん債券オープン	マザーファンド	2,944,132	99.2
コール・ローン等、その他		22,463	0.8
投資信託財産総額		2,966,595	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
		2020年2月10日現在	2020年3月10日現在	2020年4月10日現在	2020年5月11日現在	2020年6月10日現在	2020年7月10日現在
		円	円	円	円	円	円
(A) 資産		3,251,241,052	3,210,090,634	3,126,369,537	3,113,371,061	3,077,326,880	2,966,595,037
	コール・ローン等	22,086,937	23,573,869	21,015,634	22,742,544	20,635,054	20,419,460
	にっぽん債券オープン マザーファンド(評価額)	3,229,138,601	3,181,469,048	3,105,027,561	3,090,415,213	3,025,918,802	2,944,132,477
	未収入金	15,514	5,047,717	326,342	213,304	30,773,024	2,043,100
(B) 負債		5,899,836	21,100,589	5,755,524	14,184,102	36,199,556	7,663,858
	未払収益分配金	4,277,759	4,200,558	4,164,876	4,145,216	4,083,397	3,979,961
	未払解約金	316,978	15,684,495	324,049	8,779,672	30,910,976	2,510,062
	未払信託報酬	1,299,026	1,209,877	1,260,710	1,253,352	1,199,579	1,168,374
	未払利息	39	41	37	40	36	36
	その他未払費用	6,034	5,618	5,852	5,822	5,568	5,425
(C) 純資産総額(A-B)		3,245,341,216	3,188,990,045	3,120,614,013	3,099,186,959	3,041,127,324	2,958,931,179
	元本	3,290,583,915	3,231,199,147	3,203,751,496	3,188,628,047	3,141,075,216	3,061,508,604
	次期繰越損益金	△ 45,242,699	△ 42,209,102	△ 83,137,483	△ 89,441,088	△ 99,947,892	△ 102,577,425
(D) 受益権総口数		3,290,583,915口	3,231,199,147口	3,203,751,496口	3,188,628,047口	3,141,075,216口	3,061,508,604口
	1万円当たり基準価額(C/D)	9,863円	9,869円	9,740円	9,719円	9,682円	9,665円

○損益の状況

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2020年1月11日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 960	△ 890	△ 904	△ 908	△ 850	△ 824
支払利息	△ 960	△ 890	△ 904	△ 908	△ 850	△ 824
(B) 有価証券売買損益	18,299,126	7,617,874	△ 35,835,000	△ 1,294,943	△ 6,551,797	△ 5,255
売買益	18,627,184	8,378,813	188,081	36,096	171,831	74,422
売買損	△ 328,058	△ 760,939	△ 36,023,081	△ 1,331,039	△ 6,723,628	△ 79,677
(C) 信託報酬等	△ 1,305,060	△ 1,215,495	△ 1,266,562	△ 1,259,174	△ 1,205,147	△ 1,173,799
(D) 当期損益金 (A+B+C)	16,993,106	6,401,489	△ 37,102,466	△ 2,555,025	△ 7,757,794	△ 1,179,878
(E) 前期繰越損益金	△ 39,645,658	△ 26,370,771	△ 23,947,161	△ 64,859,588	△ 70,441,562	△ 80,125,680
(F) 追加信託差損益金	△ 18,312,388	△ 18,039,262	△ 17,922,980	△ 17,881,259	△ 17,665,139	△ 17,291,906
(配当等相当額)	( 74,075,441)	( 72,949,865)	( 72,385,329)	( 72,093,948)	( 71,066,089)	( 69,320,600)
(売買損益相当額)	(△ 92,387,829)	(△ 90,989,127)	(△ 90,308,309)	(△ 89,975,207)	(△ 88,731,228)	(△ 86,612,506)
(G) 計 (D+E+F)	△ 40,964,940	△ 38,008,544	△ 78,972,607	△ 85,295,872	△ 95,864,495	△ 98,597,464
(H) 収益分配金	△ 4,277,759	△ 4,200,558	△ 4,164,876	△ 4,145,216	△ 4,083,397	△ 3,979,961
次期繰越損益金 (G+H)	△ 45,242,699	△ 42,209,102	△ 83,137,483	△ 89,441,088	△ 99,947,892	△ 102,577,425
追加信託差損益金	△ 18,312,388	△ 18,039,262	△ 17,922,980	△ 17,881,259	△ 17,665,139	△ 17,291,906
(配当等相当額)	( 74,080,699)	( 72,953,576)	( 72,386,553)	( 72,095,102)	( 71,067,116)	( 69,321,810)
(売買損益相当額)	(△ 92,393,087)	(△ 90,992,838)	(△ 90,309,533)	(△ 89,976,361)	(△ 88,732,255)	(△ 86,613,716)
分配準備積立金	75,479,304	71,612,404	68,020,447	64,731,681	60,751,839	56,261,163
繰越損益金	△ 102,409,615	△ 95,782,244	△ 133,234,950	△ 136,291,510	△ 143,034,592	△ 141,546,682

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 3,294,453,725円  
 作成期中追加設定元本額 30,165,201円  
 作成期中一部解約元本額 263,110,322円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.9665円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は102,577,425円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2020年1月11日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月10日	2020年3月11日～ 2020年4月10日	2020年4月11日～ 2020年5月11日	2020年5月12日～ 2020年6月10日	2020年6月11日～ 2020年7月10日
費用控除後の配当等収益額	2,249,037円	1,901,912円	1,232,685円	1,226,634円	1,115,120円	1,081,917円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	74,080,699円	72,953,576円	72,386,553円	72,095,102円	71,067,116円	69,321,810円
分配準備積立金額	77,508,026円	73,911,050円	70,952,638円	67,650,263円	63,720,116円	59,159,207円
当ファンドの分配対象収益額	153,837,762円	148,766,538円	144,571,876円	140,971,999円	135,902,352円	129,562,934円
1万円当たり収益分配対象額	467円	460円	451円	442円	432円	423円
1万円当たり分配金額	13円	13円	13円	13円	13円	13円
収益分配金金額	4,277,759円	4,200,558円	4,164,876円	4,145,216円	4,083,397円	3,979,961円

## ○分配金のお知らせ

	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
1万口当たり分配金（税込み）	13円	13円	13円	13円	13円	13円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### 【お知らせ】

当ファンドは信託約款に基づき、2020年9月10日に信託期間を終了し満期償還となる予定です。

# にっぽん債券オープン マザーファンド

## 《第20期》決算日2020年7月10日

[計算期間：2020年1月11日～2020年7月10日]

「にっぽん債券オープン マザーファンド」は、7月10日に第20期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	安定したインカムゲインの確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資は行いません。</li> <li>・有価証券先物取引等の利用はヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) NOMURA-BPI/Extended総合 (除くMBS・ABS)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	期騰落率	期騰落率	中率			
16期(2018年7月10日)	11,725	1.1	383.51	1.0	95.5	—	3,237
17期(2019年1月10日)	11,743	0.2	384.48	0.3	94.2	—	3,196
18期(2019年7月10日)	12,008	2.3	392.52	2.1	98.4	—	3,202
19期(2020年1月10日)	11,930	△0.6	389.81	△0.7	97.8	—	3,220
20期(2020年7月10日)	11,859	△0.6	387.59	△0.6	98.8	—	2,944

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) NOMURA-BPI/Extended総合(除くMBS・ABS)とは、野村証券株式会社が発表している日本国内で発行され、MBS・ABSを除く、BBB格相当までを含めた公募固定利付債券の流通市場全体の動向を表すために開発された投資収益指数で、NOMURA-BPI/Extended総合のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) NOMURA-BPI/Extended総合 ( 除 く M B S ・ A B S )		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2020年1月10日	円 11,930	% —		% —	% 97.8	% —
1月末	12,004	0.6	392.14	0.6	97.2	—
2月末	12,097	1.4	395.13	1.4	99.0	—
3月末	11,890	△0.3	388.79	△0.3	97.6	—
4月末	11,933	0.0	390.12	0.1	98.6	—
5月末	11,882	△0.4	388.44	△0.4	96.4	—
6月末	11,836	△0.8	386.86	△0.8	98.2	—
(期末) 2020年7月10日	11,859	△0.6	387.59	△0.6	98.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

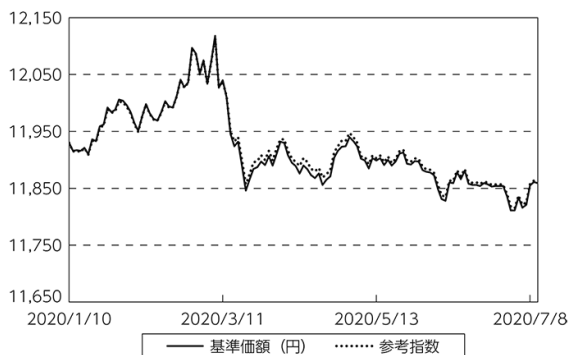
## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.6%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

### ●基準価額の変動要因

#### (下落要因)

- ・ 国債増発などを受けて、超長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

### ●投資環境について

#### ◎国内債券市況

##### 【国債】

- ・ 当期の国内金利は、超長期ゾーンが上昇しました。
- ・ 国債増発などが、超長期金利の上昇圧力となりました。

##### 【事業債】

- ・ 当期の事業債スプレッド（国債利回りとの差）は拡大しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による世界経済の減速懸念などがスプレッドの拡大要因となりました。



●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国の公社債を主要投資対象とし、金利変動リスク、信用リスクをコントロールすることで、投資収益の獲得をめざしました。
- ・取得時にBBB格相当以上の格付を有する債券に投資し、発行体の信用力に留意しつつ運用を行いました。
- ・債券種別構成は、事業債について、ファンド全体に対する組入比率を引き下げました。一方、国債については、流動性確保やデュレーション\*調整の観点から一定の組入比率を維持したものの、事業債の組入比率引き下げに伴い、国債の組入比率は上昇しました。
- ・デュレーションについては、期首から2020年1月下旬にかけては、金利低下余地は限定的との想定の下、参考指数対比短めで調整しました。期末にかけては、参考指数対比中立で調整しました。

\*デュレーション：「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

○今後の運用方針

- ・引き続き、わが国の公社債を主要投資対象とする方針です。
- ・取得時にBBB格相当以上の格付を有する債券に投資し、発行体の信用リスク、流動性リスクに留意しながら運用を行います。さらに、事業債の組入比率を高めとする運用を継続し、市場環境をみながらデュレーションを機動的に変更していく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年1月11日～2020年7月10日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年1月11日～2020年7月10日)

公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	国債証券	303,267	511,128
	社債券	200,572	100,501 (100,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年1月11日～2020年7月10日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B/A		百万円	D/C
公社債	503	104	20.7%	611	305	49.9%

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	当期末保有額
公社債	百万円 —	百万円 —	百万円 100

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、アコムです。

○組入資産の明細

(2020年7月10日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,880,000	2,103,716	71.5	—	66.9	4.5	—
社債券	800,000	804,107	27.3	—	—	6.8	20.5
	( 800,000)	( 804,107)	(27.3)	(—)	( —)	( 6.8)	(20.5)
合 計	2,680,000	2,907,823	98.8	—	66.9	11.3	20.5
	( 800,000)	( 804,107)	(27.3)	(—)	( —)	( 6.8)	(20.5)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期			期末	
	利率	額面金額	評価額	償還年月日	
<b>国債証券</b>	%	千円	千円		
第139回利付国債 (5年)	0.1	10,000	10,092	2024/3/20	
第5回利付国債 (40年)	2.0	20,000	28,282	2052/3/20	
第8回利付国債 (40年)	1.4	10,000	12,567	2055/3/20	
第11回利付国債 (40年)	0.8	20,000	21,426	2058/3/20	
第12回利付国債 (40年)	0.5	10,000	9,686	2059/3/20	
第336回利付国債 (10年)	0.5	40,000	41,124	2024/12/20	
第338回利付国債 (10年)	0.4	80,000	81,959	2025/3/20	
第340回利付国債 (10年)	0.4	20,000	20,537	2025/9/20	
第341回利付国債 (10年)	0.3	20,000	20,454	2025/12/20	
第342回利付国債 (10年)	0.1	20,000	20,246	2026/3/20	
第343回利付国債 (10年)	0.1	20,000	20,257	2026/6/20	
第344回利付国債 (10年)	0.1	30,000	30,402	2026/9/20	
第345回利付国債 (10年)	0.1	50,000	50,697	2026/12/20	
第346回利付国債 (10年)	0.1	80,000	81,158	2027/3/20	
第348回利付国債 (10年)	0.1	30,000	30,456	2027/9/20	
第349回利付国債 (10年)	0.1	30,000	30,460	2027/12/20	
第350回利付国債 (10年)	0.1	20,000	20,301	2028/3/20	
第351回利付国債 (10年)	0.1	30,000	30,443	2028/6/20	
第352回利付国債 (10年)	0.1	40,000	40,576	2028/9/20	
第353回利付国債 (10年)	0.1	40,000	40,542	2028/12/20	
第354回利付国債 (10年)	0.1	60,000	60,784	2029/3/20	
第355回利付国債 (10年)	0.1	20,000	20,242	2029/6/20	
第356回利付国債 (10年)	0.1	50,000	50,552	2029/9/20	
第357回利付国債 (10年)	0.1	10,000	10,103	2029/12/20	
第1回利付国債 (30年)	2.8	20,000	25,168	2029/9/20	
第4回利付国債 (30年)	2.9	40,000	51,825	2030/11/20	
第6回利付国債 (30年)	2.4	80,000	100,944	2031/11/20	
第16回利付国債 (30年)	2.5	70,000	92,468	2034/9/20	
第20回利付国債 (30年)	2.5	20,000	26,721	2035/9/20	
第23回利付国債 (30年)	2.5	10,000	13,458	2036/6/20	
第26回利付国債 (30年)	2.4	40,000	53,645	2037/3/20	
第28回利付国債 (30年)	2.5	30,000	41,153	2038/3/20	
第29回利付国債 (30年)	2.4	10,000	13,610	2038/9/20	
第31回利付国債 (30年)	2.2	10,000	13,362	2039/9/20	
第36回利付国債 (30年)	2.0	10,000	13,232	2042/3/20	
第40回利付国債 (30年)	1.8	10,000	12,929	2043/9/20	
第43回利付国債 (30年)	1.7	20,000	25,512	2044/6/20	
第44回利付国債 (30年)	1.7	30,000	38,305	2044/9/20	
第46回利付国債 (30年)	1.5	10,000	12,332	2045/3/20	
第47回利付国債 (30年)	1.6	10,000	12,578	2045/6/20	
第48回利付国債 (30年)	1.4	20,000	24,243	2045/9/20	
第50回利付国債 (30年)	0.8	20,000	21,390	2046/3/20	
第51回利付国債 (30年)	0.3	20,000	18,951	2046/6/20	
第53回利付国債 (30年)	0.6	10,000	10,185	2046/12/20	
第54回利付国債 (30年)	0.8	20,000	21,362	2047/3/20	
第58回利付国債 (30年)	0.8	30,000	31,994	2048/3/20	
第59回利付国債 (30年)	0.7	30,000	31,203	2048/6/20	
第60回利付国債 (30年)	0.9	10,000	10,920	2048/9/20	
第61回利付国債 (30年)	0.7	20,000	20,788	2048/12/20	
第64回利付国債 (30年)	0.4	20,000	19,149	2049/9/20	
第102回利付国債 (20年)	2.4	40,000	47,923	2028/6/20	
第115回利付国債 (20年)	2.2	20,000	24,175	2029/12/20	

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>国債証券</b>		%	千円	千円	
第116回利付国債	(20年)	2.2	30,000	36,391	2030/3/20
第125回利付国債	(20年)	2.2	20,000	24,570	2031/3/20
第137回利付国債	(20年)	1.7	20,000	23,774	2032/6/20
第140回利付国債	(20年)	1.7	20,000	23,824	2032/9/20
第142回利付国債	(20年)	1.8	10,000	12,058	2032/12/20
第145回利付国債	(20年)	1.7	20,000	23,964	2033/6/20
第146回利付国債	(20年)	1.7	10,000	12,004	2033/9/20
第148回利付国債	(20年)	1.5	10,000	11,778	2034/3/20
第149回利付国債	(20年)	1.5	40,000	47,178	2034/6/20
第150回利付国債	(20年)	1.4	10,000	11,671	2034/9/20
第153回利付国債	(20年)	1.3	20,000	23,123	2035/6/20
第155回利付国債	(20年)	1.0	20,000	22,246	2035/12/20
第157回利付国債	(20年)	0.2	20,000	19,755	2036/6/20
第158回利付国債	(20年)	0.5	10,000	10,340	2036/9/20
第160回利付国債	(20年)	0.7	20,000	21,305	2037/3/20
第162回利付国債	(20年)	0.6	60,000	62,839	2037/9/20
第163回利付国債	(20年)	0.6	10,000	10,462	2037/12/20
第165回利付国債	(20年)	0.5	10,000	10,270	2038/6/20
第166回利付国債	(20年)	0.7	50,000	53,083	2038/9/20
第167回利付国債	(20年)	0.5	10,000	10,250	2038/12/20
第168回利付国債	(20年)	0.4	10,000	10,061	2039/3/20
第169回利付国債	(20年)	0.3	10,000	9,867	2039/6/20
小	計		1,880,000	2,103,716	
<b>社債券</b>					
第12回住友信託銀行 (劣後特約付)		1.373	100,000	100,398	2020/11/11
第19回みずほ銀行 (劣後特約付)		1.67	100,000	102,307	2022/2/24
第12回SBIホールディングス		0.9	100,000	100,605	2022/6/22
第10回イオンフィナンシャルサービス		0.22	100,000	99,499	2023/7/28
第66回アコム		0.9	100,000	100,464	2021/2/26
第7回東京電力パワーグリッド		0.46	100,000	100,578	2022/10/24
第17回シティグループ		2.04	100,000	100,314	2020/9/16
第8回ケーティー		0.3	100,000	99,942	2020/11/13
小	計		800,000	804,107	
合	計		2,680,000	2,907,823	

○投資信託財産の構成

(2020年7月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,907,823	98.7
コール・ローン等、その他	38,294	1.3
投資信託財産総額	2,946,117	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年7月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,946,117,733
コール・ローン等	31,979,170
公社債(評価額)	2,907,823,600
未収利息	6,312,963
前払費用	2,000
(B) 負債	2,043,156
未払解約金	2,043,100
未払利息	56
(C) 純資産総額(A-B)	2,944,074,577
元本	2,482,614,451
次期繰越損益金	461,460,126
(D) 受益権総口数	2,482,614,451口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,859円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,699,249,459円  
 期中追加設定元本額 21,374,697円  
 期中一部解約元本額 238,009,705円  
 また、1口当たり純資産額は、期末11,859円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)  
 にっぽん債券オープン(毎月決算型) 2,482,614,451円

○損益の状況 (2020年1月11日～2020年7月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	14,283,522
受取利息	14,304,807
支払利息	△ 21,285
(B) 有価証券売買損益	△ 32,394,300
売買益	1,800,700
売買損	△ 34,195,000
(C) 当期損益金(A+B)	△ 18,110,778
(D) 前期繰越損益金	521,083,442
(E) 追加信託差損益金	4,163,333
(F) 解約差損益金	△ 45,675,871
(G) 計(C+D+E+F)	461,460,126
次期繰越損益金(G)	461,460,126

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。